

一般質問



下久保
議員

一、松浦高校との連携について
二、市民運動公園改修計画の進捗状況について

質問

一、松浦高校への進学率等現状の分析や同校の存続について、どのようなことが想定されるか。また、その場合の松浦市への影響は、どのようなことが考えられるか。

市の活力維持のために松浦高校を支援することは理に適った考えだ。同校アピールのために連携したり、特化した支援制度を作ってはどうか。また、同校卒業生の就職等の斡旋（あっせん）を行って頂きたい。

二、これまでの議会等での答弁をふまえ、現在どのような検討がなされているのか。

また、平成25年度には工事に着手する旨の発言があっていた。その中では利用関係者の意見を反映するような取り組みがなされていない。どのような段取りで検討されるのか。

市長から議会で積極的に取り組み発言があっても、なかなか具体的な決定がなされない。やると言ったことはしっかり決める必要がある。平成25年度には設計測量に入るという約束を頂きたい。

答弁

一、近年、定数割れが続く、22年度以降定員の充足率は50パーセント台という状況が続いています。市内中学校からの進学率も昨年度は22・4パーセントまで落ち込み、本年度は27・7パーセントとやや回復したものの今後もさらなる減少が心配されます。生徒数が減少することは地域活力も低下するということで大変危機感を抱いています。教育委員会では、中高連絡会での意見交換や部活動の合同練習など生徒と教職員の交流を図り、提案等もさせて頂いております。市としても学力の向上や部活動の活性化など魅力ある学校づくりのための事業に対して、有効な支援策を検討し取り組んでいきたい。

二、市民運動公園は、400メートルトラックを主体とし、野球やソフトボールが併用して利用できる施設を計画しています。現在、具体的な施設内部の検討をしており、整備計画の形が固まれば、年内にはその案を体育協会や競技団体等にお示ししながら、地形測量や基本計画につなげていきたい。25年度には測量の予算が計上できるよう作業を進めます。

一般質問



木原
議員

一、市長の本会議答弁の重みと、重要施策に対する議会への対応について
二、消防署の改築計画の協議が進められているようですが、その内容と進捗状況について

質問

一、過去2回の市議会定例会での一般質問に対する市長の答弁は、本年6月定例会での同趣旨の質問に対する答弁で大きく覆されている。政策の変更は必要であればあつていいと思うが、答弁を変更するときは、その理由を当然、議会に対して納得がいく説明をする必要が市長にはなくてはなりません。政策変更をした理由について具体的に説明を求めます。

二、消防署の現在の場所は、福祉施設と隣接した場所にある。今後、市の総合計画に基づき両施設を整備していく考え方としては、それぞれの施設の目的と機能からその設置場所を定めることが、利用上の問題からも極めて重要な意味を持っている。

これからの社会の動向を考えれば、特にこの場所は福祉ゾーンとしての利用を最優先に考えるべきである。両施設の併設が無理ならば、消防署は諸条件に適う別の場所に移設してもいいのではないかと思う。この場所の利用の基本的な考えについて市長にお尋ねします。

答弁

一、住民福祉の向上、産業の振興、雇用の確保などに取り組むことによつて地域の活性化を図り、市政を推進していかなければと思っております。6月議会での対応や施策に対する議会対応について厳しいご指摘を頂きました。自らも反省すべき事項があつたのではないかと思います。このことを肝に銘じて、今後、しっかりと説明責任を果たすとともに、市政の円滑な運営に誠心誠意取り組んでまいりたいと思っております。

二、総合計画に掲げる総合福祉保健センターの建設は、ご指摘のとおり市の大型事業としての懸案事項であります。消防庁舎との両施設の建設は、面積が狭いことや幼児や妊婦の方、高齢者及び障害者等多くの方々の利便性から考慮すると福祉施設の場所として整備を優先することが適当と判断します。消防庁舎は、市民の安全安心を確保する役割を果たす施設ですので、出動しやすい国道に近接する場所が重要です。議論のうえ候補地を絞り込んだ結果、現時点では中央診療所の前の用地を候補地として検討しているところです。